



# 畜産研通信

平成 23 年 第 4 号

岐阜県畜産研究所の情報発信誌

## ○畜産研究所研究発表会を開催しました

平成 23 年 1 月 27 日（金）に岐阜市藪田南 シンクタンク庁舎大会議室において、畜産研究所研究発表会を開催しました。約 100 名が集まり熱心な討議がなされました。発表成果は以下のとおりです。

- ・ 畜産業からの窒素資源リサイクル利用 (養豚研究部 小川 幹夫)
- ・ 黒毛和種繁殖雌牛の哺乳能力が子牛の生産性に及ぼす影響 (飛騨牛研究部 三田 翔平)
- ・ Cryotop を用いて超急速ガラス化保存したウシ性判別胚の直接移植法の検討 (酪農研究部 林 登)

発表内容のお問い合わせは各研究部まで。

## ○飛騨牛研究部

### 「神白幸、景幸福の現場後代検定枝肉研究会を開催しました」

平成 23 年 1 月 24 日、高山市 飛騨ミート農協連において、「神白幸」号の現場後代検定枝肉研究会を開催しました。当所から種雄牛造成の経緯、検定牛の成績の説明を行った後、全国和牛登録協会より講評を、また飛騨ミート農協連より流通面からみた枝肉の評価を頂きました。同じく「景幸福」号の枝肉研究会を平成 24 年 2 月 2 日に飛騨ミート農協連において開催しました。検定成績等は飛騨牛研究部までお問い合わせください。また、平成 24 年 3 月 23 日（金）には飛騨ミート農協連で「福糸桜王」号の枝肉研究会が実施されます。



## ○養豚研究部

### 「畜産業に存在する窒素資源のリサイクル技術の開発」

養豚研究部は、県内企業と共同開発したアンモニアリサイクラーによって生産される、硫酸アンモニウム溶液の活用を目指しています。これは堆肥化施設から発生するアンモニアをタンク内の希硫酸で捕集し、硫酸アンモニウム水溶液を得るもので、いわゆる硫安の液肥として利用可能です。この回収液を農業用に販売利用できれば、脱臭装置の運用経費を軽減できることが期待されます。しかし現在の肥料取締法では、このような製法による硫安水溶液には、適応される公定規格が存在しないため、肥料登録ができません。このため肥料公定規格新設申し出に必要な試験を行い、回収液に有害成分が含まれないこと、肥料成分としてのアンモニア態窒素が安定していること、作物への害がないこと、肥効が市販の硫安と同等であることを確認しました。アンモニアリサイクラーを畜産業における臭気対策だけでなく、窒素資源として有効利用をしていただけるよう、試験を進めています。

## ○養鶏研究部

### 「養鶏技術開発懇談会を開催しました」

平成 24 年 2 月 7 日、岐阜県農業共済組合連合会研修室において、養鶏スキルアップセミナーの後に、養鶏研究部主催の養鶏技術開発懇談会を開催しました。高病原性鳥インフルエンザのリスク回避や遺伝資源の保存として利用している凍結精液の作製方法等について、関係者、育種孵卵場および生産農家の皆様に報告いたしました。



## ○養豚研究部

### 「養豚経営後継者との技術交流会を開催しました」

平成24年2月23日、中濃ミート事業協同組合及び養豚研究部にて、技術交流会を開催しました。養豚研究部では、ポーノブラウンの育成や新しい飼料の開発により「霜降り豚肉」づくりを関係者の皆様方と進めてきました。この技術開発が養豚の生産振興につながるよう、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」の関連イベント等を通じて、全国に向けて情報発信の準備が進められていますので、養豚経営を担う若手後継者の方々に「霜降り豚肉」生産の取り組みと特徴を紹介しました。また、会場を移して研究員と意見交換しました。



中濃ミート事業協同組合にて（関市）

## ○養豚研究部

### 「将来を見据えた養豚研究報告会を開催しました」

平成24年3月9日、岐阜市内のホテルにて、養豚研究部の研究・業務の取り組みが、養豚農家等の経営戦略に寄与することを目的に報告会を開催しました。現在研究中の畜産業に由来する窒素資源のリサイクルを図るためのアンモニアリサイクラー回収液の液肥利用と、豚肉の筋肉内脂肪（霜降り割合）含量を増加させるポーノブラウンと肉質改良飼料の組み合わせによる生産現場実証成果や今後の研究推進方向を養豚農家や関係者の皆様に報告いたしました。



## ○東日本家畜受精卵移植研究会大会が開催されました

平成24年12月26日から27日に東日本家畜受精卵移植技術研究会の第27回大会が高山市で開催されました。本大会は、家畜受精卵移植技術の研究成果の発表等により、技術の研鑽と畜産振興を図ることを目的とされており、東日本（青森県から三重県まで）の1都22県において、毎年交替で開催し、岐阜県では2回目の開催です。当所から「岐阜県における乳用牛性判別胚供給に向けた取り組み」と岐阜大学との共同研究で「岐阜大学における在来ヤギを用いた繁殖学研究的の試み」が発表されました。



畜産研究所ホームページ <http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/beef/>

- 飛騨牛研究部 506-0101 高山市清見町牧ヶ洞4393-1  
Tel 0577-68-2226 Fax 0577-68-2227 Email box@beef.rd.pref.gifu.jp
- 酪農研究部 509-7601 恵那市山岡町久保原  
Tel 0573-56-2769 Fax 0573-56-2974 Email box@dairy.rd.pref.gifu.jp
- 養豚研究部 505-0037 美濃加茂市前平町3-8  
Tel 0574-25-2185 Fax 0574-28-4132 Email box@swine.rd.pref.gifu.jp
- 養鶏研究部 501-3924 関市迫間2672-1  
Tel 0575-22-3165 Fax 0575-22-3164 Email box@poultry.rd.pref.gifu.jp